



こうた kota

議会だより

VOL.
110
2003 11月1日



(菱池保育園運動会)

2 14年度 決算の概要と審議

6 一般質問「なぜ幸田町が合併か」など7人が追求

13 わが町を思う I LOVE TOWN

14 委員会レポート...「菱池保育園移転・開園」など

17 請願・陳情、議会傍聴記 など

私の税金 どう使われた

一般会計決算額 ()内は前年度

歳入 110億649万円 (118億8,192万円)

歳出 106億5,514万円 (112億7,586万円)

決算の概要

今定例会は、14年度の決算を審議するため、特別委員会を設置し一般会計ほか、8つの特別会計等を慎重に審査した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

一般会計の決算内容は、前年度と比較して歳入で、8億7,543万円(7.4%)減少し、歳出においても6億2,072万円(5.5%)減少しました。

町民税の個人所得割分は、依然厳しい雇用環境にありますが、前年度比3.379万円(2.2%)の増収となり、法人税割分は電気機械器具製造企業の組織再編等による影響で、前年度比2億6,060万円(19.1%)の減収となり、町民税全体の収入済額は、27億5,632万円、前年度比2億2,723万円(7.6%)の減収となりました。

歳出(主なもの)

- ・ 民生費 25億6,372万円
- ・ 土木費 17億1,586万円
- ・ 教育費

15億5,025万円

- ・ 公債費 12億399万円
- 基金への積立は、福祉施設基金1億6,715万円、都市整備基金1億5,028万円、一般会計の5つの基金の14年度末残高は30億2,631万円です。

土地取得特別会計は、一般会計への菱池保育園用地等の売払いがあったものの前年度において、幸田中央公園、商工会跡地、横落住民広場等の売払いが多かったため、前年度と比較して大幅な減となり、歳入総額は2億9,468万円、歳出総額は2億9,420万円、差引48万円でした。

14年度の一般会計及び特別会計の借入金総額は、4億1,708万円、14年度末の起債残高の合計額は206億3,120万円となりました。

主な普通建設事業として、次の事業が執行されました

- (1) 菱池保育園移転改築事業
 - ・ 2億6,128万円
 - ・ 用地購入費 1億2,028万円
 - (2) 特別養護老人ホーム用地購入事業
 - ・ 4,814万円
 - (3) 一般廃棄物最終処分場建設事業
 - ・ 1,723万円
 - (4) (仮)相見駅周辺開発整備事業
 - ・ 1億3,104万円
 - (5) 幸田中央公園整備事業
 - ・ 1億800万円
- 相見士地区画整理組合への補助金等です。
- 最終処分場基本設計作成業務の費用です。



営業が始まった相見地区大規模商業地域

平成14年度決算 総額 170 億円

(一般会計及び特別会計の歳出決算額の合計)



幸田駅前広場

主な質疑

法人税の 収入減は

Q 法人税の収入減はなぜか、連結納税制度への移行による落ち込みはどのくらいか。

A 連結納税制度への移行による減収ではなく、法人の本社が町外に転出、会社の統廃合により、法人税の増収は期待できなかった。税収の落ちこみは、約2億6千万円となった。

訓練塔の 撤去理由は

Q 菱池保育園移転・改築に伴い(仮)防災広場の訓練塔撤去移転がされたが、関係部署とどのような協議をしてきたか。町費のむだ遣いではないか。

A 内部調整の不備があった。今後は、このようなことのないよう行政運営をしていく。深く反省している。

幸田駅前 開発は

Q 駅前再開発事業は財政事情、住民意識の盛り上がりなどから一考を要するのでは。

A 事業は、全体で55億、そのうち町費26億円、重点施策として採択され易い状況で、住民意識は向上傾向にあり、事業推進をしたい。

基金の状況 一般会計

単位:万円

区分	14年度末
教育基金	2億3,600
財調基金	11億2,132
都市整備基金	14億7,181
医療基金	3,003
福祉施設基金	1億6,715
計	30億2,631

平成14年度 特別会計決算状況

単位:万円

区分	歳入	歳出	差引	
特別会計	土地取得	2億9,468	2億9,420	48
	国民健康保険	19億3,925	18億7,754	6,171
	老人保健	18億9,070	18億9,070	0
	介護保険	7億9,945	7億9,658	287
	通所介護サービス	915	1,070	155
	農業集落排水事業	5億6,396	5億5,367	1,029
	下水道事業	9億5,213	9億3,952	1,261
水道事業会計(税抜き)	収益的事業	6億1,525	5億7,704	3,821
	資本的事業	1億2,185	1億5,388	3,203

高齢者ふれあい プラザの利用は

Q 利用状況、運営、管理について今後どのように事業展開をするのか。

A 平成14年度の利用者は、

3、422人である。改善策としては、カラオケを歌い放題に契約変更をした。今後はアンケート調査を実施し、ニーズの把握に努めていく。

菱池保育園 移転改築

9月定例会の あらまし

9月1日

立派にオープン!

9月定例会は、2日に招集され、26日までの25日間の会期で開かれました。
教育委員会委員の任命他5件、補正予算関係7件、14年度決算認定9会計の議案が上程され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

一般質問では、7人が当面する町政の問題点等を追求しました。



移転改築した菱池保育園

町長 給料

1カ月分
10%カット

幸田町長の給料の特例に関する条例を制定し、町長の平成15年10月分給料を10%減額することとしました。

人事案件

教育委員・佐野登氏、固定資産評価審査委員会委員・高井忠男氏、人権擁護委員・渡辺一雄氏の任期満了にともない次の方が選任されました。

・教育委員

安藤 茂氏(新任・長嶺)
(任期4年)

・固定資産評価審査委員会委員

本多節夫氏(新任・岩堀)
(任期3年)

・人権擁護委員

平野郁孝氏(再任・鷲田)
八田百合子氏
(再任・幸田)
(任期3年)

鈴木東市氏(新任・市場)
(任期3年)

(以上、全員賛成で可決)

その他の議案

・奥宮ほ場整備事業永野地区の「字の区域」変更

・岡崎額田地区広域事務組合規約の一部改正

(以上、全員賛成で可決)

・その他に請願1件、陳情13件を審議しました(審議内容については、17頁のとおりです)。

Q 再発防止策は。
A 今回の教訓を旨として条例・規則・要綱等を遵守し、再発防止に徹する。(賛成多数で可決)

一般会計

9月補正予算

1億2、432万円

増額

会計別
補正予算

おもな追加予算

市街化調整区域内の道路整備など、7会計の補正予算議案が上程され、いずれも原案どおり全員賛成で可決しました。

こんな
質疑が
行われました



老人クラブのフォークダンス練習（中央公園）

Q 中央公園整備事業300万円の計画内容は、運動場トラック周辺に芝の植え付けをする。

A 特に、砂ぼこりへの対策として東側住宅地との境界付近を重点に施工する。なお、中央公園の維持管理費は、月額60万円程度となっている。

Q 住宅管理一般事業300万円の内容は、

A 無料耐震診断の結果により、住宅の改修工事が必要な場合、1戸当たり60万円を限度として補助金が受けられる。

町内で無料耐震診断を申込みれた方は、約140戸あったが、先着順100戸の診断が実施された。

一般会計

1億2、432万円

土地取得特別会計

264万円

国民健康保険特別会計

1、054万円

老人保健特別会計

849万円

介護保険特別会計

708万円

集落排水事業特別会計

0万円

(財源の変更)

下水道事業特別会計

588万円

道路改良・整備に 6、566万円

町民要望にこたえて、市街化区域・市街化調整区域内の道路整備にあてるものです。

総合計画の推進に 300万円

第5次総合計画策定の調査委託費用です。

障害者福祉に 1、067万円

補装具給付扶助・支援費給付の費用です。

芦谷住民広場整備に 320万円

臨時駐車場にも利用できるよう整備します。



芦谷住民広場整備予定地

都市公園整備に 300万円

中央公園グラウンドに芝を植え付ける費用です。

耐震化工事補助金に 300万円

無料耐震診断の結果、改修工事を行う場合、最高

60万円の補助金が受けられます。

町づくり・町の考えは？

ここが聞きたいQ&A

合併の是非は住民投票で

町長 直ちに行う意思はない



伊藤宗次 議員

〔質問〕

岡崎・幸田・額田、1市2町で合併研究会がつくられ「合併を前提にしない」としながら、合併スケジュールを決め、判断を迫り、12月議会で法定合併協議会設置を求めるは、行政の独断専行だ。

幸田町は、全国でトップクラスの財政力。学童保育は全小学校区で実施。福祉バスは全域を走り町民の足を守る。23行政区に集会所も整備されている。町民も元気なまち・幸田だ。
なぜ合併か？と疑問をもつ住民は多い。



岡崎額田地区市町村合併研修会

合併は、住民投票で決めるべきだ。

町長〔答弁〕

今年の7月9日に事務方による研究会を立ち上げ、研究・調査を進めてきているが、まだまだ研究等の余地がある。年内の法定協議会設置は、法律自体の期限延長の動きもあり、まだ態度は明確にしていない。

17年3月に合併できるかは極めて難しい問題があり、議会のみならず、広く町民の方々の発議も望ましいと思うが、大事なことは行政がいろんな情報を提供して住民が適切な判断をし、行政・議会・住民共同によって問題解決を図っていくことが望ましい。

従って、今直ちに住民投票をやる意思はない。

〔質問〕

全町下水道化政策の名のもとで市街化調整区域まで下水道を際限もなく拡大しているが、借金で下水道、集落排水を建設し、借金返済は30年と長期である。

下水道、集排の使用料だけでは事業運営費がまかなえず、一般会計から一世帯あたり11万円、5億9、000万円繰入れている。合併浄化槽は、設置補助だけで、維持管理は個人まかせだ。

維持管理費に補助制度つくり、放流水の水質向上に町の責任も明らかにすべきではないか。

合併浄化槽の維持管理に補助を

補助の方向で検討していく

町長〔答弁〕

本町の下水道化の基本的な考え方は、市街化地区は下水道、農村地区は集落排水、下水道施工困難地区は合併浄化槽で対応している。下水道・集落排水への起債残高は70数億円となったが、極力起債増発を避けながら今後も取り組んでいく。合併浄化槽の維持管理については同調できる部分があるので、他市町の状況を探りながら、妥当な額を議会と相談して決めていきたい。

町民会館の運営等について

町長 当分の間、現状でいく



足立嘉之 議員

〔質問〕

町民会館は平成8年に開館され、すでに7年が経過した。長びく不況はすべてに及び、国、地方ともに財政難は深刻である。

文化の殿堂町民会館の建設に要した借入金の高は14年度末で33億5、800万円と聞いている。この債務償還完了予定年月はいつか。

町民会館、図書館、プール、駐車場敷地の中で公有・借地別の面積、借地の地権者数はどれだけか。また、町民会館の北側にある芝生グラウンドは、総合体育館の建設用地と聞かすが、今後の計画を問う。



グラウンドゴルフに利用されている町民会館北の芝生広場

町長〔答弁〕

町民会館の起債の完了予定年度は平成28年度であり、あと14年で返済完了となる。

ハツピネス・ヒル・幸田に関する土地の内訳は町有地58、592㎡、借地18筆、17、432㎡で、12名の方が地権者である。ハツピネス・ヒル・幸田の全体構想の中では総合体育館、歴史資料館を建てる計画はあるが、現状では当分の間至難だろうと思うので、引き続きグラウンドゴルフ等の愛好家に利用いただけることを願う。

ごみのポイ捨てに対する対策は

〔質問〕

夜を待って不法投棄されるごみ。「ごみ捨て禁止！ごみを捨てると法律により処罰されます。」の看板が山すその道路わきに多く立てられております。にもかかわらず、ごみの不法投棄は年々増えてきている。少しでも少なくする対策はあるのか。

ポイ捨てされた粗大ごみの場合、町当局の原則は、



地権者が片付けることになっている。なぜか捨てる人に甘く、捨てられた地権者に厳しいように思われる。

あまりにも頼りない町当局の原則改正の余地はあるのかを問う。

検討課題として対処する

町長〔答弁〕

ごみの不法投棄は大変遺憾ながら、各所で発生して

いるため、町はクリーンパトロールを週3回、町民総参加のクリーン運動を年2回行っている。

しかしながら、町外者と推定される不心得な者の不法投棄が後を絶たないのが現実である。このことに対しては、警察、隣接市町との関係を強めて取り組んでいきたい。

過料・罰則の件は、いろんな面で技術的にも問題があるので、もう少し検討課題として対処していく。

幸田町水田農業ビジョンを問う

町長

米づくりのあり方のあるべき姿の実現へ



鈴木修一 議員



冷夏の影響で、幸田のコシヒカリの作柄もやや不良

〔質問〕

農水省は、米対策を抜本的に変える米政策改革大綱を決めました。

2008年までに、農業者や農業団体が主体となる生産調整に転換し、流通の一層の自由化を進める事が柱になっている。

全国一律だった転作助成は、農業者などの創意工夫が反映でき、地域が自由に使える産地作り対策に変わ

る。

それには町の「地域水田農業ビジョン」を策定しなければならぬ。

町の基本的な方針を問う。

町長〔答弁〕

本町の水田農業経営は、経営規模の面からも、国の新しい米政策には即応できない面がある。

来年度には、米の生産調整が面積の配分方式から生産数量による需給調整方式に改められる。

稲作所得の基盤確保・集荷安全対策をはじめ、産地づくり対策、あるいは担い手の経営安定対策等については、関係団体とも協議を行い、特に農家への急激なしわ寄せは避ける方向を模索しながら地域水田ビジョンの確立をめざす。

食の安全
安心に
ついて

〔質問〕

狂牛病、残留農薬問題等食をめぐる事件が相次ぎ、食の安全安心を求める国民の声が急速に高まり、国は、食品安全委員会を立ち上げ、新たな食品安全行政をスタートさせた。

信頼回復のため、農家は生産履歴記帳運動を始めた。町の指導方針を問う。

野菜や稲を育てる体験を通し、農業や食べ物について学ぶ「食農教育」が始まっている。町の進め方を問う。

食の安全安心は、地産地消からと言われている。町の実状を問う。



特産筆柿の収穫

地産地消
にも真剣に
取組みたい

町長〔答弁〕

近年、消費者の目には、農産物の安全指向に、極めて厳しいものがある。

この生産物がどこで、どのように生産されたかという生産履歴（トレーサビリ

ティ）などの問題については関係団体（農協）と連携をとりながら指導に務める。町の産物を理解してもらうという面からも、学校給食等を含めて地産地消の問題に真剣に取組んでいく。また、各小中学校においては、水田農業を体験することにより、食の安全にかかる問題としての食農教育を進めている。

ISO14001取得を！

町長 職員の意識改革にも役立てたい

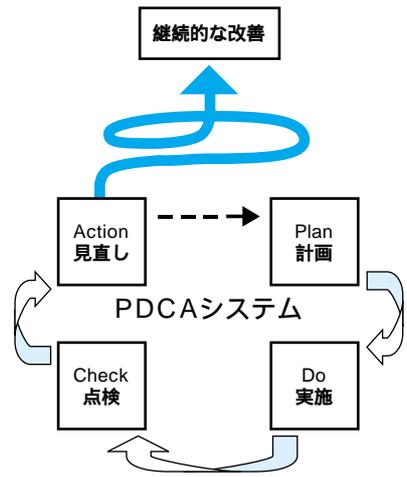


鈴木三津男 議員

- 〔質問〕
現在の幸田町行政をかんがみたとき、次の理由から「今こそISO14001を町として認証取得するべきではないか」を問う。
- (1) 最終処分場建設のあたり、分別意識を高める。
 - (2) 職員が率先垂範して、町民の環境意識をさらに向上させる。
 - (3) ISO14001の精

町長〔答弁〕
本町としても、環境問題は今世紀の最大のテーマであることを十分認識し、各種の施策に取り組んでいる。環境基本計画は、5つの柱を基にして策定した。この計画に沿って、自然との共生を目指した町づくりを進める。事業を進めるうえにおいては、具体的なプランの作成と実行、その結果の評価が必要である。

神「PDCAシステム」を職員が身につけ、一般行政改革に生かす。
(4) 合併を考慮して、環境行政レベルを岡崎市並みにしておく。



環境問題の仕事に取り組む事業所として、ISO14001認証による職員の意識改革を推進する。

大日蔭にテニスコート新設を！

〔質問〕

次の理由から、大日蔭運動場に5面のテニスコート新設を提案し、その意思の有無を問う。

- (1) 最も利用度の高かった元中央運動場のテニスコート3面が失われて以来、コート取りの争奪戦が連日繰り返されている。
- (2) 多面のテニス場がなく、町民テニス大会等の開催に不自由している。
- (3) 生涯スポーツとして楽しめるテニスは、高齢化社会に向けて愛好家が増えてくる。
- (4) スポーツの町・幸田をアピールするにふさわしい環境を整える。

問題はあるが検討課題とする

町長〔答弁〕

現在、本町にはとほねに2面、文化広場に2面、豊坂に2面のテニスコートがある。

テニスをはじめとするスポーツ活動は、住民の健康増進とコミュニケーション向上に大きく役立つものと思う。
このような面から、テニスコートの増設と整備、特に1カ所への集中化の必要性は十分理解できるが、諸般の状況から実現には困難な問題もあるので、今後の検討課題とする。



大日蔭運動場。奥の高台にテニスコートをと提案

保育園の整備と充実を

町長

耐震調査と増改築を検討する



丸山千代子 議員

〔質問〕

毎年、乳児保育の要望が増え続けている。

保育ニーズに応えるためにも整備と充実を進める必要がある。

3歳未満児の年齢別、発達に応じた保育をするため、2歳児の単独クラスを保障すべきである。

幸田保育園の乳児室は狭く、19名も詰め込んでいる。

幸田・わしだ保育園の乳児室の拡張で、他の保育園のように2歳児クラスの実施を。

坂崎・豊坂保育園は駐車



手狭な幸田保育園の乳児室

場が狭く、路上駐車である。園児の送迎時の安全のために駐車場対策を。

町長〔答弁〕

乳児保育は現在111名、10月以降の入所見込みは34名を予測している。菱池保育園が9月に開園し、10月から特別保育を実施し、乳児の受け入れを行う。

希望者の状況を見きわめながら早い時期に検討していく。

幸田・わしだ両保育園とも耐震性など調査をして拡張・増築が可能か検討、判断をする。

坂崎・豊坂両保育園駐車場について、適当な借地等を含め打診調整をして確保に努力する。

〔質問〕

地域でおこなわれている廃品回収は、ごみ行政の一翼を担っている。

平成14年度のごみ総量9,552tのうち、集団回収量は2,010tで5分の1強を占めている。

都市化が進む一方で、家庭には廃品回収に使用するのに適当な車両がなく、困っている地域が増え、区所有の防災トラックの貸し出しだけでは追いつかない。

廃品回収に公用車の貸し出しを。

廃品回収に
公用車の
貸し出しを

対応を
検討する

町長〔答弁〕

廃品回収については、地域の皆さんの努力で資源回

収に大きな成果を上げている。それぞれの各地区では、自家用車を活用して収集に当たっている。地元でも車両を借りる場合、ガソリン代等実費に対して支払いをする方向など目下検討している。

町の公用車貸し出しがいいのか検討したい。



幸田子ども会の廃品回収

文化財の保護を

町長 十分な管理対応を考える



杉浦 務 議員

町長〔答弁〕
町の郷土資料館は深溝地

- 〔質問〕
文化財はわが国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、そして今日まで守り伝えられてきた貴重な私たちの財産である。
- この郷土の貴重な文化財を良い形で後世に引き継ぐには、地道な努力と強力な指導者が大切である。その考えを問う。
- (1) 新しい資料館の建設の考えはあるか。
 - (2) 現在の指定文化財（国・県の指定を含め）を今後どのように管理していくのか。
 - (3) 幸田町に文化財を専門的に調査、研究する学芸員を採用する考えはあるか。



大草浄土寺の十二神将立像のうち
安底羅（あんていら）大将（申）〔町指定文化財〕

- 内にあるが、築後26年が経過している。展示物など大変に重要で意義がある。可能な限り相当の対応はしていく。
- (1) 図書館の西側に建設計画はあるが財政の状況から直ちに建設できる状態ではない。検討時間が必要。
 - (2) 現施設については2名の嘱託員によって保管・管理をしている。運営・収集、研究整理など文化財保護委員の方々にお願いをしている。
 - (3) 専門的学芸員について直ちに採用する考えはない。

総合計画の成果と基本計画は

〔質問〕

- 住民と行政がまちの将来に向けて目標を持ち、その目標達成のための基本的な整備の方向や具体的な施策を明らかにするのが総合計画である。
- 1 第4次の未着手事業について問う。
 - (1) 高等教育機関の誘致の考えは。

成果をみて目標を再検討する

- (1) 目標人口
- (2) 大型事業の継続、促進
- (3) 福祉、教育の充実、環境の整備
- (4) 優良企業の誘致。

町長〔答弁〕
第4次総合計画は平成7年に策定、平成8年にスタートした。主要指標である

- (1) 人口の達成率は68・7%、市街化整備も54%である。高度成長期の計画策定で結果的に無理があった。
- 1 第4次未着手事業
- (1) 町に大学、高校、専門学校など誘致に引き続き努力。
- (2) 現施設を整備して引き続き中間処理をしていく。
- 2 第5次基本計画
- (1) 人口5万人計画を見直す。
- (2) 引き続き検討努力をする。
- (3) 継続、促進を図る。
- (4) 重要課題であり総合計画に反映していく努力をする。



総合計画に町の未来を描く（坂崎保育園）

乳幼児医療費助成制度について

町長

通院医療費4歳まで無料に



水野千代子 議員

〔質問〕

21世紀の担い手である子ども達を、安心して生み、心身ともに健やかに育てる環境づくりの一環として、子育て世帯の経済的負担を軽減するために。

(1) 「乳幼児医療費就学前までの通院費の無料化」を提案する。

(2) 「乳幼児医療費の無料化を就学前まで拡大」を求め、3,030名の署名と要望書を町長のもとに提出したが、どう対応するか。

町長〔答弁〕

少子化が進む中で、特に子育てを取り巻く環境が極めて厳しいことは十分認識している。

今後の取組み

- (1) 16年度中に乳幼児通院医療費を1歳引き上げ、4歳までの無料化に取り組む。
- (2) 就学前までの無料化は3,000名有余の署名の提出を受け、この制度の充実に向け努力する。

〔質問〕

子どもの読書環境の充実を

国の「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定され、各自治体に計画策定の努力義務が課せられている。

また、学校図書館法の規定により、本年度から司書教諭が12学級以上の学校に配置されている。

- (1) 本町の「基本計画」策定の取り組みについて問う。
- (2) 学校図書館整備として「学校図書館の整備費図書標準」について問う。
- (3) 「専任の学校図書館司書」の配置を提案する。



町立図書館にて

緊急雇用対策で整備する

町長〔答弁〕

14年度、15年度の2カ年で、国の緊急地域雇用創出の特別基金を活用して、緊

- (1) 貸し出し、返却作業の管理の一元化と図書の充実強化を図る。
- (2) 14年度536万円
15年度565万円
蔵書数77,906冊
蔵書達成率91%である。

- (3) 県に強く要請しているが、現況では先生の兼任で対応している。



I LOVE TOWN

わが町を思う

住みやすい町
幸田に感謝

【坂崎区】

石原信子さん

私は自宅でピアノ教室を開いている。生徒大好きな2児の母です。結婚して6年ほど岡崎に住んでいましたが、長女2歳・二女1歳の時に、幸田町の住民となり、14年になります。

引越してきた頃は、川役、草焼き、クリーン運動の時など、西尾の実家に子供を預け、必死で参加していました。みなさんにいろいろな事を教えていただき、勉強になりました。

氏子総代、神社係、地蔵係、女性の会、PTAと何とかやってこられたのは、8番組や坂崎の人達のお陰と心から感謝しています。

今春わが家によつてきた愛犬コロンと散歩を楽しんでいる時、今まで知らなかった小道や、土手をみつけ、自然に恵まれたこの町に住めることに感謝しています。



5番組及び8番組を望む

子どもの未来
幸田の未来

【荻区】

本田善子さん

近年少年犯罪が多発し、幸田の治安の悪さが噂されます。

私には2人の子どもがいますが、親として社会へ送り出す責任を感じています。

昔から「三つ子の魂百まで」といいますが、生後3年で脳は大人の約3分2まで成長し、急速に発達して必要なことを吸収します。

最も重要なのが、心を学ぶことです。思いやり、協調、自制などです。この3年で学んだことが、後の人生に大きな影響を与えます。

初めて心を学ぶのは、お母さんからで、情緒が安定しなければ、子どもの情緒も安定しません。何も教えなければ身につ



きません。

現実では、子どもの心が理解できず悩む人が多くいます。子どものためにお母さんをささえ、情報伝わり易く、子どもの心を学ぶ場所がほしいと思います。

そして、地域で子どもを守る社会にしていけたらと思います。

総務

工事予定価格 事前公表の試行

8月25日協議会を開催。公共工事の入札及び契約の適正化を図り、工事の透明性の確保と、公正な競争の促進及び不正行為を排除するため予定価格の事前公表が試行されます。実施は10月1日から当分の期間です。

地方公務員給与引き下げ景気の低迷で、きわめて厳しい民間の情勢を受け、昨年度に続き給与引き下げの人事院勧告がありました。公務員給与が民間水準を上回る「逆格差」に対して給与の減額方針が出され、その引下げ率の勧告を受け

て、本町として協議調整し、11月に臨時会を開催し審議する予定です。

役場庁舎の全面分煙
庁舎内で喫煙場所が特定され、1階ロビー正面玄関西側など、各階とも喫煙場所が特定されました。

健康増進法に基づき、「受動喫煙」（他人のたばこの煙りを吸わされること）の防止を図るため8月1日から実施されました。

その他
平成16年10月の幸田町と豊坂村の合併50周年記念事業などを協議しました。



1階ロビーに設置された分煙機

消防庁舎と 行革を視察研修

7月16日から18日の3日間、岩手県江刺市消防本部、大船渡市役所及び宮城県石巻市石ノ森萬画館を視察しました。

江刺市消防庁舎
市の人口は約34,000人で本町と同じです。

庁舎は15年3月に完成、江刺市消防センター・消防庁舎として開庁されました。建物は鉄骨鉄筋コンクリート構造（新耐震設計）3階建、延面積1,725㎡で、防災センター部分45%、消防庁舎部分55%で3階がセンター研修室となりました。

特に車庫の床暖房は、災害時における一時避難所としての機能が整備されていました。

5月の東北地震で震度6弱を観測した地域であったが、庁舎の被害はゼロであったと説明されました。

大船渡市
大船渡市と三陸町の合併後の大船渡市（人口4万5千人）の「行革大綱策定」を研修

宮城県石巻市萬画館
マンガを基本にイベントの開催、教育、総合学習の活性に大きな効果がありました。



江刺市消防本部

産業建設

国道23号は17年度 供用開始目標で



改修が予定されている大井池の堤防

建設部から9項目、上下水道部から2項目の説明を受け協議しました。

建設部から9項目、上下水道部から2項目の説明を受け協議しました。

(1) 国道23号線の工事が、17年度末の芦谷I・Cまでの供用開始目標を進め

られており、町内5・49kmの延長のうち、須美から芦谷の間で連続立体交差工事が行われています。このため、しばらくの間町民の方にご迷惑がかかることが予想されるが、

委員から安全対策に努めてほしいとの意見が出されました。

(2) 県営防災ダム事業・大井池の施設老朽化と東海地震対策として、平成15年から7年間の工期で大改修が行われます。

堤防を1・3mかさあげし、洪水調節が行える余水吐及び地震時における緊急放流管を施工するものです。2日間連続雨量322ミリにも対応できる洪水調節用ダムに生まれ変わります。総事業費20億円が予想されています。

関連事業として、県道生平幸田線の整備も強く望む意見が出ました。

道の駅と高品質 堆肥製造施設視察



川崎村 道の駅「かわさき」

7月22日から24日まで岩手県内の4施設を視察しました。

道の駅「かわさき」は、国道284号線北上川のほとりに本年4月オープンした敷地面積8,000㎡の整然とした良い施設でした。

県施工の駐車場、トイレ、休憩施設及び川崎村が事業主体の農水産物直販所、レストラン、地域情報提供コーナー等が整備されています。

この運営に当たっては、民間の営業経験者をスカウトし、生産者、職員の指導等に当たっている取り組みが印象的でした。

金ヶ崎町の高品質堆肥製造施設「オーガニック金ヶ崎」は、町、農協、廃棄物

処理企業、プラントメーカーの出資により、公費の削減と民間資金ノウハウを活用するPFI方式を導入していました。

安定した収入を確保するために、処理単価の安い畜ふんの投入割合を全体の60%に抑さえ、残りを処理単価の高い生ごみ、事業系動物性残さを投入できるように処理業の許可を取得していました。

雇用職員は1名とし、堆肥化作業に必要な2名は参加企業から一定の経費負担によって派遣されています。

1日の処理量は、畜ふん18t、生ごみ4t、動物性残さ8t、1日の製品堆肥は4tです。

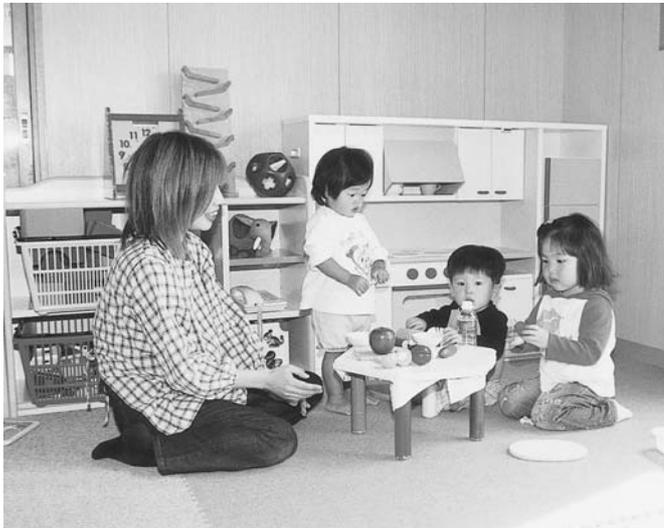
文教福祉

10月から 特別保育事業実施

8月20日、協議会を開催しました。
住民児童課から、9月1日に菱池保育園が移転開園し、一時保育事業等各種特別保育を10月から実施するとの報告を受け協議をしま

しました。
菱池保育園で実施する特別保育事業
1 一時保育
対象者
生後6カ月以上の乳幼児
定員 10人
利用料
月額2,000円

保育時間
午前8時30分～
午後4時
（土曜日は正午まで）
2 延長保育
午後8時までの保育
（15年度は午後7時まで）
延長保育料
月額3,000円
（午後7時までは従来通り、1,500円）



菱池保育園で始まった一時保育事業

保健環境課から、公有地に長期間放置されている自動車が多く（町内で10台）、本町の放置自動車の処理方針が示され、要綱をつくり早急に対応したいとの報告がありました。
8月4日、町内保育園を視察しました。空調設備の不十分な園もあり、園児の体調を考えたとき心配です。

公設民営化の 保育園を視察



羽咋市「こすもす保育園」

委員会は、7月8日から10日の3日間、行政視察を行いました。

石川県羽咋市「こすもす保育園」

本年4月に公立2園と私立1園を統合新設し、民営化された保育園であります。若い保育士が多く、熱意も感じられ、園児たちも生き生き、のびのびと育っている様子が見られました。また、特別保育事業が数多く実施され、子育て支援機能の充実が図られています。民営化による市民の反応は好評であり、運営費の

削減も図られたとことであります。

福井県小杉町「子どもの権利支援センター」

小杉町では「子どもの権利に関する条例」が制定され、引きこもり、不登校児童たちが、将来大人として自立できるよう育成支援するために「子ども権利支援センター事業」を創設し、今年8月に開設され事業化される予定とのことでした。

国に意見書提出

右記、請願・陳情のうち、採択したものについて、下記の意見書を提出しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小を求める意見書の提出

義務教育国庫負担制度の堅持、学校事務職員及び栄養職員を国庫負担の対象から除外することのないように、また、学級規模の縮小と少人数学習の実施など多様な学習が可能となる教職員の配置にむけ、十分な教育予算を確保されることを強く要望する。

幼稚園と保育所の「一元化」及び保育所給食調理室の必置規制撤廃の論議に関する意見書の提出

「幼稚園と保育所の給食調理室の必置規制撤廃」及び「保育所運営費の一般財源」の問題は、関係者の意見をふまえて慎重に検討されることを強く要望する。

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書の提出

私立高等学校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、授業助成の充実、専任教職員増など「教育改革」の促進を目的とした特別助成の実現を強く要望する。



町単独での取り組みが始まり、より充実した小人数授業（荻谷小学校2年生算数）

請願・陳情の審議結果

請 願

義務教育費国庫負担制度の堅持と、学級規模の縮小に関する請願書
（全員賛成で採択）

陳 情

地方交付税の削減に反対し、地方税財源の拡充を求める意見表明についての陳情
（賛成少数で不採択）

強制的市町村合併に反対し、住民合意の基本姿勢を求める陳情
（賛成少数で不採択）

公契約条例を確立し、委託請負労働者、及び臨時・非常勤職員の賃金・労働条件を改善する陳情
（賛成少数で不採択）

清潔で公平な国民奉仕を貫く、公務員制度の確立を求める陳情
（賛成少数で不採択）

無法な戦争・武力行使反対、有時法制の立法化反対を政府に求める陳情
（賛成少数で不採択）

自治体の緊急「雇用・失業・生活対策」を求める陳情
（賛成少数で不採択）

義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度からの適用除外及び必置規制廃止に反対する意見書の提出についての陳情
（全員賛成で採択）

幼稚園と保育所の「一元化」および保育所給食調理室の必置規制撤廃の論議に関する意見書提出の陳情書
（全員賛成で採択）

保育所運営費の一般財源化に関する意見書提出の陳情書
（全員賛成で採択）

7校3校舎の廃校と夜間定時制の再編をすすめる「県立高等学校再編整備基本計画」の見直しの意見書採択を求める陳情
（賛成少数で不採択）

教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情書
（賛成少数で不採択）

国の責任で30人以下学級の実現を求める意見書採択を求める陳情書
（賛成少数で不採択）

国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
（全員賛成で採択）



「荻区」
貝吹敏行さん

9月8日(月) 暦の上では白露である。町議会の一般質問の傍聴に出かける。
受付で渡された「傍聴をされる方へ」の注意書をはたして熟読したのかどうか疑わしい行為があったが、議長の注意はなかった。あれくらいは容認されるのかな...と思いました。
質問者7氏の中で特に関心があったのは市町村合併問題であった。気迫鋭い質問者に対して答弁は「のらりくらり」、30分という持



ち時間では、大したことはできないなあ...と思いました。
基本的には、住民のための議員であり、住民のための議会、住民のための役場(職員)であってほしい。
ましてや、住民は議会の傍聴に行くべきであると痛感しました。

議会 傍聴記



「大草区」
伊野 誼さん

初めて議会を傍聴して

地元議員さんが、区で頭を抱えている「ごみの不法投棄」について一般質問をされる情報があり傍聴する機会を初めて得ました。
一般質問は、現状の最大の課題、将来的視野からの内容に分かれていた。



質問は、事前の調査や詳細な予想から、今後議論されて、優先順位をつけて推進されるでしょうが当面どうするか、お金や手間を掛けないやり方、やらせ方の話が今後出てくることを期待して、私の傍聴記とします。



議員さん頑張れ

幸田町の当面する課題や将来構想から、今後議論されて、優先順位をつけて推進されるでしょうが当面どうするか、お金や手間を掛けないやり方、やらせ方の話が今後出てくることを期待して、私の傍聴記とします。

あなたも議会を傍聴してみませんか

12月議会の本会議は、下記のとおり行う予定です。

会期の日程

- 1日(月) 開会、議案の説明
- 4日(木) 一般質問
- 5日(金) 一般質問
- 8日(月) 議案の質疑
- 9日(火) 議案の質疑
- 19日(金) 討論・採決、閉会

場所 役場5階 議場

時間 午前9時から

詳しくは議会事務局へ

☎0564-63-5151

幸田町議会史を 読んでみませんか

来年8月、合併50周年を迎える幸田町。

幸田町議会史は、合併30周年記念事業(昭和59年)の一環として発刊され、明治時代の地方制度や5村並立の時代から、今日の幸田町に至る経過の中で、議会や議員の活動、役割などが年代を追って著述されています。

秋の夜長の友に「幸田町議会史」を読んでみませんか。

問い合わせは、議会事務局へ 0564-63-5151

編集後記



「実をつけて頭を垂る稲穂かな」のことわざがあります。
今夏は、ガラガラと照りつける太陽が少なく、日照不足。穂に実が入らず頭を垂れぬ稲穂に不作、凶作の影響が心配される。

14年度一般会計決算額は110億円。この110億円が、住民の生命と暮らしを守る実をつけ穂に入り、頭を垂れる行政であったのか。
住民が指摘し批判する事業に、「私の強い思い入れがあった」などとして、税金を投入するなど、実をつけず突っ立った稲穂かどうかを見きわめる住民の厳しい目を、行政も議会もしっかり受けとめ、生かすことが問われている。
晩秋の風を肌で感じる。